

# 相馬市成人式

市成人式は1月10日、市民会館で行われ、晴れ着やスーツ姿の新成人が大人の自覚と責任を胸に、式に臨みました。

今年成人を迎えた、平成12年4月2日から同13年4月1日生まれの246人が式に参加。

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、マスク着用や入場時の検温、座席指定による距離の確保、式典の時間短縮などの対策を行った上で実施しました。

成人式の司会を務めたのは、菊地優里さん。

式で立谷市長は「震災当時小学校4年生だった皆さんが成人を迎えること、親御さんをはじめとした周りの皆さんのこれまでの支援を思うと胸が熱くなります。大人になることは我慢を覚えることであり、我慢しないといけないことはこれからの社会人生活、対人関係でたくさん出てきます。相馬での今までの思いを力にして、我慢をしながら成長し、これからの皆さんの人生を大切にしていってください」と新成人を祝いました。

新成人意見発表では、阿久津太一さんが新成人としての決意を述べました。

新成人たちは、久しぶりに顔を合わせた友人と写真を撮るなど、再会を喜び合いました。



## 新成人代表あいさつ 阿久津太一さん

この20年間、私たちはたくさんの人に支えられてきました。つらい困難を共に乗り越えてきた友人たち、親身になってご指導してくださった先生方や地域の方々、そして守り続けてくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

現在、私は教員になるという目標を叶えるために、大学に進学して日々勉強に励んでいます。激しい時代の流れの変化の中で、先行き不透明な時代に生きている子どもたちが、強い意志を持って生き抜いていくことが出来るよう、人材育成をしていきたいと思っています。しかし、教員になるための道のりは決して楽なものではありません。いつの日か、私が育った相馬に戻り、子どもたちの主体性を育むことのできる教員を目指したいです。

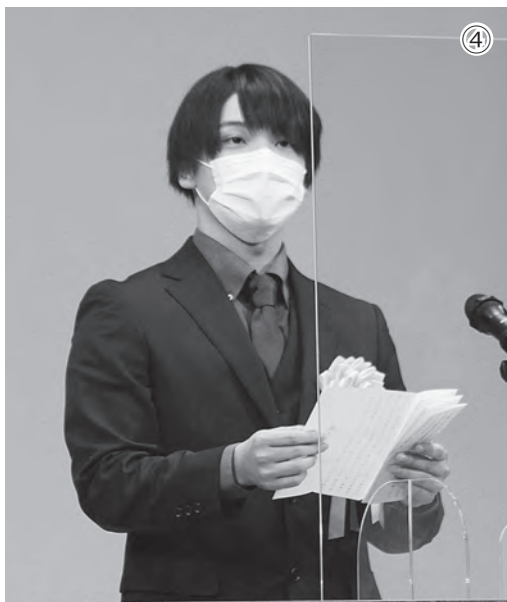
昨年から、新型コロナウイルス

ルスが世界各地で猛威を振るい、これまで当たり前だった生活が一変してしまいました。ここにいる新成人の皆さんは、すでに職業に従事している人や、学業に励んでいる人など立場はさまざまですが、新型コロナウイルスの影響により私たちの生活は大きく変わってしまったことと思います。しかし、前を向いて、今私たちが困難へと引きずり込んでいる逆境に立ち向かっていかなければなりません。そのためにも、私たち若者の一人一人が自分の行動に責任を持ち、これまでもない新しい未来を創り上げていくことが重要であると思います。

最後になりますが、私たちは社会の一員として、不慣れながらも前進していきたいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。そして、支えてくださる方々へ感謝の気持ちを忘れずに、力強く、たくましく生きていきます。

※あいさつの一部を抜粋して掲載しています。

# 大人の自覚を胸に



- ①再会を喜ぶ新成人たち
- ②・③写真を撮る新成人たち
- ④新成人を代表しあいさつを行った阿久津さん
- ⑤新成人たちにあいさつする立谷市長
- ⑥国歌静聴する新成人たち
- ⑦司会を行った菊地さん

成人式当日の様子は、  
YouTubeでご覧いただけます。

